

# みんなで健康

## がん検診を受けましょう!!

### <がんを知って、がんに向き合う>

いま日本では、「2人に1人が、がんになり、3人に1人が、がんで死ぬ」と思って下さい。そんながんに向き合うために必要な知識はごくわずか。でも、いずれも重要。

☆検診が有効とされる5つの主要ながん。厚生労働省が、がん検診の効果が科学的に証明されていると検診を推奨しているがんです。町で気軽に集団検診を受けることができます。

- ・ **肺がん**・・・女性にも急増。がん死亡率のトップ。もっとも死亡者数の多いがんで、年間約6万人の方が亡くなっています。喫煙との関係が深いことが科学的に証明されていますが、非喫煙者にも発生します。
- ・ **胃がん**・・・食生活と深い関係。部位別患者数トップ。日本人に多いがんです。死者は肺がんに次いで2位ですが、年間約5万人の方が亡くなっています。食事や生活習慣の変化で若い世代に少なくなってきましたが、食塩を多く摂る地域に多いなど食生活との関係が深いがんです。
- ・ **大腸がん**・・・食の欧米化で増加傾向。年間約4万人の方が亡くなっています。死者は胃がんに次ぐ第3位のがんです。食生活の欧米化にともなって、患者数は増え続けています。部位別には、直腸とS状結腸のがんで7割を占めます。最近は飲酒との関係も指摘されています。
- ・ **乳がん**・・・マンモグラフィ検診で早期発見。年間約1万人の方が亡くなっています。壮年期の女性に多く、35歳以上の方の死亡率が増加しています。早期発見が重要で、早期に見つければ、比較的治りやすいがんです。この40年で死者は5倍にも増えています。
- ・ **子宮がん**・・・若い世代に増える子宮頸がん。がんのできる部位によって子宮頸がんと子宮体がんに分かれます。子宮頸がんは若い世代に増加しておりHPV（ヒトパピローマウイルス）というウイルスの感染に関係が深いがんです。子宮頸がんは早期に発見すれば治りやすいがんです。

## がん検診がさらに受診しやすくなりました！

### <女性特有のがん検診の無料クーポンについて>

日本のがん検診受診率を50%にあげることを目標として、女性特有のがん対策が講じられることになりました。（平成20年度朝日町がん検診受診率：肺がん13.1%、胃がん11.4%、大腸がん12.8%、乳がん14.1%、子宮がん11.0%）

具体的には、ある年齢の方々に対する「がん検診無料クーポン配布」が決まりました。この施策により、全国の市町村で、H21年度（H21.4.2～H22.4.1の間に）20歳、25歳、30歳、35歳、40歳になった女性の方は「子宮頸がん」検診、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳になった方は「乳がん」検診を無料で受けていただくことができます。（40歳の方の場合は、乳がん・子宮頸がんの両方です。）対象の方には4月頃に無料クーポンを送付します。

### <70歳以上がん検診料金の無料化について>

平成22年度より、70歳以上の方のがん検診料金が無料になります。

### <前立腺がん検診の再開について>

平成18年度から実施を中止していた前立腺がん検診を、平成22年度より再開します。前立腺がん検診は血液検査による腫瘍マーカー検査です。

朝日町では、保健福祉センターでがん検診を行っています。広報2月号の申込用紙にてお申し込みください。

